

□大学院共通科目

科目名	研究方法概論 I	1 単位
担当者	末盛 慶	
開講形態	オンデマンド形式 ※【nfu.jp】で配信される講義コンテンツを視聴しながら学ぶ	
テーマ	研究方法の基礎知識と量的方法について理解を深める。	
科目のねらい	<p><キーワード> 研究方法 量的方法 理論 仮説 社会調査 統計学、多変量解析</p> <p><内容の要約></p> <p>本科目では各院生が研究を進めていく上で必要となる研究方法について学び、研究方法の基礎知識と量的方法について理解を深める。具体的には、社会科学のリサーチデザイン、仮説および質問紙の作成方法、調査の実施方法、データ入力の方法、記述統計、推測統計、多変量解析について説明する。</p> <p><学習目標></p> <p>研究方法の基礎知識と量的方法の概要を理解できる。 量的データの収集方法を理解できる。 量的データの分析方法を理解できる。</p>	
授業の進め方	<p>第 1 回 社会科学研究入門：存在論・認識論・リサーチデザイン</p> <p>第 2 回 量的研究の進め方：理論・仮説・分析モデル</p> <p>第 3 回 質問紙の作成とサンプリング：データ入力とその後の管理も含めて</p> <p>第 4 回 統計学の基礎 I－統計学の概要と記述統計</p> <p>第 5 回 統計学の基礎 II－推測統計を学ぶ</p> <p>第 6 回 多変量解析の基礎 I－グループ間の差の検定</p> <p>第 7 回 多変量解析の基礎 II－相関分析</p> <p>第 8 回 多変量解析の基礎 III－回帰分析</p>	
事前学習の内容 学習上の注意	<p>本科目はオンデマンド授業のため、開講している期日までに必ず該当する回を履修すること。一部分でも期限内に受講しないと、単位認定の対象外となる。</p> <p>以下にあげた参考文献のうち、野村康『社会科学の考え方』、高根正昭『創造の方法学』、轟亮・杉野勇・平沢和司『入門・社会調査法』などを読みながら、受講することをお勧めする。</p> <p>なお、社会調査についてわからない事柄があった場合は、一般社団法人社会調査協会『社会調査事典』を、統計学についてわからない事柄があった場合は、大澤光『わかる・使える統計学用語』、Sarah Boslaugh（黒川利明訳）『統計クイックリファレンス（第 2 版）』などを参照すると良い。</p>	
本科目の 関連科目	私の研究テーマと研究方法（大学院共通科目）、統計解析講座（大学院共通科目）	
テキスト	毎回オリジナルのレジュメを用いる。	
参考文献	<p>【研究方法論の基礎】</p> <p>高根正昭，1979，『創造の方法学』講談社現代新書</p> <p>野村康，2017，『社会科学の考え方：認識論、リサーチ・デザイン、手法』名古屋大学出版会</p> <p>戸田山和久，2022，『最新版 論文の教室：レポートから卒論まで』NHK ブックス</p> <p>【社会調査】</p> <p>轟亮・杉野勇・平沢和司，2021，『入門・社会調査法（第 4 版）』法律文化社</p> <p>一般社団法人社会調査協会，2014，『社会調査事典』丸善出版</p> <p>【統計学】</p> <p>向後千春・富永敦子，2007，『統計学がわかる』技術評論社</p> <p>大澤光，2016，『わかる・使える統計学用語』アーク出版</p> <p>Sarah Boslaugh（黒川利明訳），2015，『統計クイックリファレンス（第 2 版）』オーム社</p> <p>【多変量解析】</p> <p>栗原伸一・丸山敦史，2017，『統計学図鑑』オーム社</p> <p>米川和雄・山崎貞政，2010，『超初心者向け SPSS 統計解析マニュアル』北大路書房</p> <p>村瀬 洋一・高田 洋他，2007，『SPSS による多変量解析』オーム社</p> <p>浦上昌則・脇田貴文.2020.『心理学・社会科学研究のための調査系論文の読み方（改訂版）』東京図書</p>	
成績評価 方法と基準	期末レポート（50 点）、授業内容に関する受講生のコメント・毎回提出（50 点）により評価し、総合評価 60 点以上を合格とする。	